

第1回 外部評価委員会 議事録

(大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る事業に関する第1回会議)

2021年1月18日

北海道社会事業協会 帯広看護専門学校 松田

- 議題： 1. 令和2年度学校運営目標と運営計画に関する報告
2. 1の報告に関して、学校運営状況の議論

出席者委員（2名）

- ・看護局統括責任者（本部 看護局）局長 川畑いづみ 様
- ・臨地実習先責任者（帯広協会病院看護部長）看護部長 的場由紀子 様
司会・書記 北海道社会事業協会帯広看護専門学校 教務部長 松田亜由美

議事録

会議は、1月15日（金）、看護部長会議の後にweb会議で実施した。（資料参照）
教務部長から、学校の運営状況（①～④）と、課題を報告した。

- ①本年度の学校運営目標と運営計画についての進捗と見込み、②受験者確保対策と受験者数・
入学者数推移、③学生の学校評価概要について、④教員のマンパワーの推移と現状。

【両委員の意見】

- ・学校の教育の方向性は、これで良いと思われる。
 - ・今後益々、受験者及び入学者の確保が困難になることは、理解している。
奨学金の増額、看護部のアピール、学校の取り組み等を総合的にみると、この受験者推移は
寧ろ評価できる。昨年度の落ち込みは、一時的なものと推論できる。
<今後の学生確保提案>
 - ・地域推薦枠（帯広以外）を再開する、或いは、社会人入学制度を検討する等を検討されたい。
前者は、学力の問題で撤廃したと聴いているが、現状をみると、卒後のメンタルの弱さも課題
となっている。学力だけに偏倚せず、メンタルが安定している学生層の取り込みが、必要であ
る。受け容れる各病院側の需要も、メンタルが安定している看護師の就職を強く望むところであ
らう。
 - ・企業内の教育機関として、7つの病院を有する。各看護部長とタイアップして、更に学校アピ
ールを活発にすることが可能であると思われる。
 - ・改カリを見据えると、地域看護実習として、帯広以外の病院を、実習施設として開拓するとい
うことも、当校の一つの特徴・強みになる可能性がある。
- <教員の確保について>
- ・病院と学校の人事交流が、学校と現場の双方の利益になる。今後は、帯広病院に関わらず、
7病院と学校の人財が循環するようなシステムの導入を提案する。